

News Release

ENEOS のサービスステーションへ VPP 実証用蓄電システムを導入 ～エネマネと周波数制御の同時マルチユース～

株式会社 YAMABISHI(本社：東京都大田区、CEO：蓮池 一憲)は、このたび、経済産業省資源エネルギー庁の補助事業である「令和2年度需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント※1(以下、VPP)構築実証事業」の一環として、リチウムイオン蓄電システムを ENEOS 株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：大田 勝幸/以下、ENEOS)のサービスステーション※2 (以下、SS) に導入いたしました。



<納入されたリチウムイオン蓄電システム YRW >



<蓄電システムが導入された ENEOS のサービスステーション>

▼リチウムイオン蓄電システム「YRW シリーズ」お問い合わせ URL▼

https://www.sotuu.net/yamabishi/release_20201215.html

本実証事業では SS に設置された 3 台の蓄電システムを、関西電力送配電株式会社の蓄電池監視制御システム (K-LIBRA) から ENEOS の RA システム※3 を経由して制御し、蓄電池の応動評価を行います。さらに、エネルギーマネジメント（以下、エネマネ）と周波数制御の同時マルチユース機能の実フィールド検証も行います。

エネマネには当社独自の自家消費最適化制御「SmartSC」を使用することで、予測機能を活用し「太陽光発電の最大活用」「ピークカット」「停電対策」といった蓄電池に求められる効果を最大化します。エネマネの効果を損なわず、電力系統向け周波数調整力の提供を同時に実現することで、蓄電池の価値向上が期待されます。

VPP サービスの商用化に向けては、電力需要家のエネマネと系統向けサービスの両立によりエネルギーリソースとしての価値を高めることが不可欠と考えられます。

当社は本実証事業を通じてエネルギー利用の最適化を目指し、脱炭素化による持続可能な社会の実現に貢献して参ります。

※1：分散化された電源を IoT 技術などの高度なエネルギーマネジメント技術を使って統合制御することで、あたかも一つの発電所のように機能させる仕組み

※2 外環和泉 SS、和泉中央 SS、箕面白島 SS の 3 か所

※3：リソースアグリゲーターが利用するシステム

▼自家消費最適化制御「SmartSC」の概要はこちらから▼

https://www.yamabishi.co.jp/products/back_yrw/smartsc.html

▼リチウムイオン蓄電システム「YRW シリーズ」の概要はこちらから▼

https://www.yamabishi.co.jp/products/back_yrw/index.html

◆導入システム 概要

型 式 : YRW-400-20SH-3PV-32Lib-10STW

電 圧 : 三相 3 線 200V 系

出 力 : 20kW(連系) / 20kVA(自立)

蓄電池 : 32.2kWh

太陽光 : 約 20kW

◆特長

- ・上位通信から任意に充放電制御可能 (RS-485 もしくは LAN)
- ・SmartSC により余剰予測に基づいた自家消費最適化
- ・UPS グレードの自立運転機能により停電時には 無瞬断で自立運転に移行
- ・リチウムイオン蓄電池は信頼性の高い株式会社東芝製 SCiB™を搭載
- ・グラフィカルな「WEB みえる化システム」を標準搭載

◆株式会社 YAMABISHI 会社概要

商号 : 株式会社 YAMABISHI(<https://www.yamabishi.co.jp>)

代表者 : CEO 蓮池 一憲

本社所在地 : 東京都大田区大森北 2-4-18

設立年月日 : 1958 年 3 月

主な事業の内容 : 電源装置の開発・製造・販売

◆本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 YAMABISHI 東京営業所 Tel : 03-3767-8861 mail:y-sales@yamabishi.co.jp